

20小道第138号

平成20年10月10日

国土交通省道路局長 殿

小郡市長 平安 正知



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあった標記の件につきまして

別紙の通り提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡道小郡市

・財源の乏しい当市は、少ない財源をより有効に活用するよう苦慮しているところであり、道路財源の一般化により、道路事業費を一方的に削減されてしまうと、道路計画そのものが机上のものとなり、さらに社会資本の整備は遅れてしまい、ますます都市部との格差は広がるばかりである。

今後は今まで以上に、道路事業の補助率を嵩上げするなどの施策を拡充し、道路計画の早期の実現を図り、地方部の社会資本の整備を都市部並みにするなどの対応が必要である。

財源の少ない自治体において、道路特定財源は道路整備を行うための主要な財源であり、地方自治体の社会資本整備予算の主要部分である。必要な道路を早期に完成させるためにも、一般財源化後も地方財政への影響がないような施策で財源確保を要望する。

・毎年度4月前後に内示そして補助事業申請を行い、決定通知→事業実施となり、工程上どうしても年度末に工事が集中するような予算の流れとなっている。

これは道路工事に限らず、他の工事も同様に予算に関する事務的な問題であるが、年度末の工事の集中は住民の批判が出ているところであり、河川や水路等の制約のある箇所以外の工事については、工事の平準化を図るうえでも一連の申請業務の柔軟な対応を要望する。

○現状

・地方の財政はひっ迫し、補助事業や交付金事業等を活用しなければ、予算が成立しない状況で、現在補助事業や交付金事業を活用して事業継続中であるが、これが削減されたり、消滅したりすれば予算編成そのものが成立せず、事業の一時停止や延期または事業の中止なども考えられ、道路ネットワークや市民の日常生活へ悪影響を及ぼす状況となっている。

○課題

・大きな財源のない自治体は地方交付税と国庫補助事業などを中心とした財源を活用する前提でしか、財政運営が行えない状況であるが、ここで道路特定財源の一般財源化による財源の削減等、今後の予算の取り扱いによっては、予算編成・事業計画などの見直しによる大きな計画の変更又は遅延は免れず、将来へ大きな損失を生むこととなる。

・当市は人口が年々微増の傾向にあり、一部地域は都市化し農村型都市から住宅型都市へと変貌しつつあるが、全体的にみれば未だ農村型都市であり、道路交通網においては未発達の地域である。

しかしながら、市内と隣接市には高速道路インターチェンジを持ち、2本の鉄道路線を有する交通アクセスに優れた環境にある。

今後はこれらの環境を最大限に生かしながら遅れている幹線道路・生活道路の整備を行い、広域的な道路交通網の早期整備と併せて市内の地域間交通体系を構築し、本市の経済発展並びに市民が安全で快適な生活を送れるよう、生活道路網の整備を進める。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

福岡県小郡市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ⋮	都市計画道路の建設促進	高速道インターに関連し、外環道(都計道)を整備することにより、流通産業を含む商業・農業の生産拠点を結ぶ、交通ネットワークが地域経済に多大な影響を及ぼすこととなる。	